



三重なす塔



「ことば」との出会いで自己発見を！

3学期始業式校長講話より

2学期の終業式では、エジソンの言葉を紹介しました。そのエジソンの言葉のように、「前向きなよい言葉」は、最近の研究では脳に良い影響を与え、行動をプラスに変え、結果をよくしていく、とされています。

あるお医者さんを紹介します。日本大学医学部の林成之先生は、日大救命救急センターで10万人以上の命を救い、水泳の北島康介選手に「勝つための脳」について話をし、オリンピックでの金メダル獲得につながった方です。

林先生は、救急救命チーム全員に「否定的な言葉を使わないこと」「明るく前向きでいること」「チームの仲間の悪口を言ったり、意地悪をしたりしないこと」を徹底しました。命にかかわる厳しい現場で愚痴も出そうですが、苦しい中でも「今、具体的に何をすべきか」を考えさせ、「難しい」と言う暇があったら、その理由を一つ一つ考え合い、「解決策を探す」ようにしよう、としたのです。

一方、「否定的な言葉」、例えば「疲れた」「もうこれ以上できない」「無理だ」などというのは、自分が言っても、他の人が言うのを聞いても、脳に悪い影響があるようです。「否定的な言葉」に脳が反応して、やるべきことを脳が拒否するのだといいます。

日本には昔から「言葉には魂が宿る」といった「言霊信仰(ことだましんこう)」があります。つまり「話す人の思いが言葉に宿り、その言葉通りの現実を運んでくる」というものです。こうした「言葉の持つ力」はやはり大変大きく、多くの命を助けることにつながりました。

その「ことば」について、朝日新聞に「私の折々のことばコンテスト」(あなた自身の心に響いた言葉を探し、その思いを書くことで、自分にとって大切なものは何かに気づく、そんなきっかけを願うコンテスト)があります。

審査員長の鷲田清一(わしだきよかず)さんは、「中高学生は自分が他人にどう思われているのかに神経をすり減らしています。そんな時に、ある言葉に出会ったことで、「私はこう!」と言えるまでに一歩前に踏み出せたら...それはすごい経験です」とお話ししています。

今日は、そのコンテストの中から、先生が印象に残った二つを紹介します。

あんさんが思っるとるほど

足下には何もなか

やけん前見て歩きんさい

あなたが思っているほど、足下には何もありません。だから前を見てあるきなさい

バス停のおばさん

志望校に合格できたのはおばさんのお陰です。

つらい時はこの言葉を思い出して進んでいきたいです。

- ▶ 受験が近づくとどうしても不安から下を向いてしまう。塾から自宅へ帰るとき先日受けたテストがふるわず僕の頭も下を向いていた。
- ▶ 「元気なかね」僕が帰る時いつも玄関前に水をまいているおばさんに声をかけられた。正直言ってイラっときた。受験前で焦っていたためか、好意からの声すらも煩わしく感じていた。明らかに不機嫌な顔を見せたのにおばさんは話を続ける...
- ▶ 何も知らないはずなのに、何でも知っているように話す。心が軽くなった。
- ▶ 今では無事高校に入ることができ、もう2年が経とうとしている。大学受験が見えてきた今、もう一度この言葉を思い出す。

鹿児島県 高2 塚原さん

二兎を追わぬ者は

二兎は得ず

ことわざ「二兎を追う者は一兎も得ず」に対して...

中学時代の恩師

将来やりたいことが2つあり選べずにいた。ひとつに絞らなければどちらも成功することはないという焦りがあった。

私は地方活性化にかかわりながら世界中を飛び回る客室乗務員になりたい。その夢を叶えるために、現在は震災ボランティアや国際交流などの活動を通して、二兎どころか、四兎、五兎を追う日々を送っている。

この言葉を言ってくれた先生は授業の準備も何日も前からされるようなまじめできちっとした先生なので、ひとつに絞って選ぶ方がよいのでは、と言われると思っていました。意外な言葉が返ってきて驚きましたが、自分のやりたいことを応援してくれていると感じました。それ以来、この言葉はずっと私の背中を押してくれています。

高3 渡邊さん (宮城県)

さて、いかがでしょうか。今年度の重点「認め合い」「学び合い」「助け合い」、様々なよい取り組みが見られていますが、それはみなさんの温かく生きている言葉が飛び交っているから。

言葉には人を支える力があります。是非「前向きなよい言葉」を交わし合うように努めましょう。そして、「ことば」との出会いで新たな自分を発見し、温かな「ことば」で支え合っていきましょう。それが、皆さんそれぞれ、3学期、そして次年度の、新たな伸び、新たな活躍、幸せな生活につながると確信します。

参考・引用文献:朝日新聞(H31. 1. 6)、朝日新聞HP、林成之著「脳に悪い7つの習慣」

ホットニュース in 青木中

1月の学校生活から



生徒会が動き始めました

2学期末の生徒総会で承認された、2年生主体の生徒会が本格的に活動を始めました。

1月18日(金)には第1回の生徒会の委員会があり、新たなメンバーで仕事内容の確認を行い、日常の活動が進められています。また、23日(水)の生徒集会では、新委員長から活動目標、内容等が発表されました。どの委員会も、先輩から引き継いだ仕事・活動を確実に進めながら、新たな視点を加えていこうとする意欲が感じられます。

これから、日常的な活動を行いながら、3学期末の退会式の企画運営という大きな仕事に取り組んでいきます。

小6体験入学

1月22日(火)、青木小6年生の体験入学が行われました。来年度へ向けて中学校生活の第一歩です。

2クラスの皆さんにそれぞれ英語の授業を体験してもらいました。どちらの授業でも背筋を伸ばして話を聞き、先生からの問いかけにも素直に答える姿が見られ、どの子も中学入学へ向けて意欲を高めている様子が伝わってきました。4月がますます楽しみにになりました。

授業後は、現中学1年生による中学校生活の説明会を行いました。6年生へ、学習、部活動、生徒会活動など、一人一役でわかりやすく伝えることができました。6年生たちの中学校生活への期待が更に膨らんだのではないかと思います。中学1年生にとっても、先輩としての姿を見せる第一歩となりました。



非違行為防止研修

1月7日(月)、PTA会長の林様にご来校いただき、セクハラ・わいせつ、体罰、酒気帯運転等の事案に関する本校職員の非違行為防止研修を行いました。まず自分自身の日常の振り返りをした後、小グループに分かれ、意見交換を行い、防止策について確認しました。

林会長からは、「先生方にとっても楽しい学校になってほしい」と、温かな言葉をいただきました。今後も研修時だけでなく、全職員で自分の姿を振り返りながら、非違行為の防止に努めてまいります。



2月の予定

- | | | |
|--------------------------------|--------------|--------------------|
| 4日(月) 集金日・地域参観日④・PTA 代議員会・総委員会 | 6日(水) 生徒集会 | |
| 8日(金) 公立高校前期選抜 | 13日(水) 漢字道場⑥ | 14日(木) 3年 第6回総合テスト |
| 15日(金) 公立高校前期選抜合格発表・数学検定② | | |
| 19日(火)・20日(水) 1・2年 3学期期末テスト | | |
| 26日(火) 生徒会委員会 | 27日(水) 校長講話 | |
| 28日(木) 図書館閉館日 | | |



【放射性物質検査結果について】 1月の学校給食用食材の長野産ほうれん草、長野県産ほうれん草から放射性物質が検出されなかったことをお知らせします。